2025 年 2 月 21 日号掲載
全国農業新聞

各地の話題
涌谷町

農業委員が農産物直売を企画　町の農産物をＰＲ

涌谷町農業委員の湯浅輝樹さんは仙台市と女川町で町内産野菜の販売会を開催している。

きっかけは農業委員に任命された２２年。農業従事者ではないが、地域おこし協力隊として活動していた湯浅さんが、町の農業のために何ができるのかという思いから始まった。

販売会は毎月１回開催され、仙台市本町商店街と女川観光案内協会で販売している。農産物は涌谷産直センターと連携し、早朝に収穫された新鮮な野菜を提供している。生産者の顔が見えるよう丁寧に説明し、消費者が産地への意識を高めることを目指している。

また、本町商店街と町内の農業者と協力し、イネの田植から収穫、販売まで行える農業体験を企画した。収穫したお米は「恋する二人」と名付け、商店街で販売しており、事前予約で完売になるほど好評だ。今後は作付面積の拡大を予定している。

湯浅さんは「農業従事者の高齢化や担い手不足がすすんでおり、地域間の交流が課題の解決の鍵となると考えた。規模はまだ小さいが、販売会を通じて、町へ訪れてくれる人が増えてくれれば良い」と語る。

本町商店街で販売会を行う湯浅さん

販売する野菜を消費者に説明する湯浅さん

【記事提供】　涌谷町農業委員会